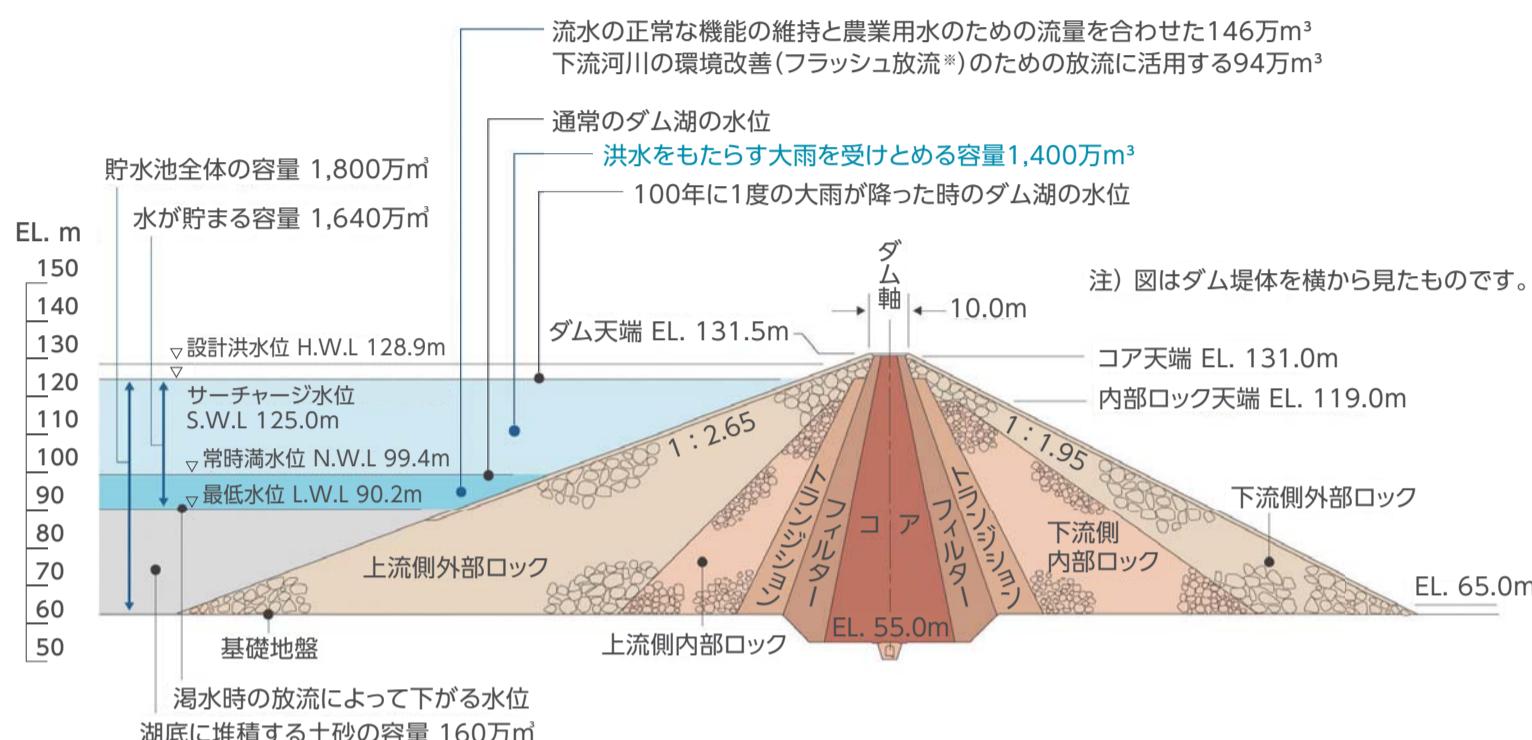


安威川ダムの構造・機能について

安威川ダムの構造

安威川ダムは、中心に土でコアをつくり、外部に岩を積み上げてつくる、ロックフィルダムという形式を採用しています。



安威川ダムの洪水調節の仕組み

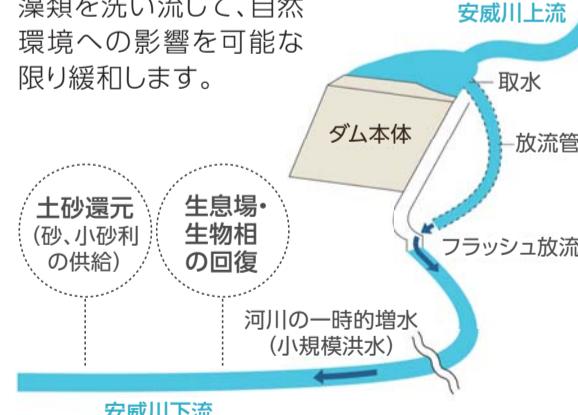
安威川ダムの洪水調節は、人による操作を行わず、貯水位に応じて洪水吐から自然に流れしていく「自然調節方式」を採用しています。

平常時

下流河川の維持のために必要な水と、**フラッシュ放流**に必要な水を、取水設備から取り込み放流管のルートで放流します。

※フラッシュ放流

ダムは大きな出水を減らしますが、同時に日頃生じる小さな出水も減らしてしまったため、下流河川の環境が変わる懸念があります。そのため、ダムに貯めた水を用いて、一時的に放流量を増加させる「フラッシュ放流」を行い、人工的に下流の河川敷に水が被らない程度の出水を起こします。これにより、川底の土砂を移動させたり、石に付いた泥や藻類を洗い流して、自然環境への影響を可能な限り緩和します。



令和5年度のフラッシュ放流の予定等の詳細については、大阪府安威川ダム建設事務所HPをご覧ください。



洪水調節時

洪水調節時は「常用洪水吐き」と「非常用洪水吐き」の2系統で放流します。

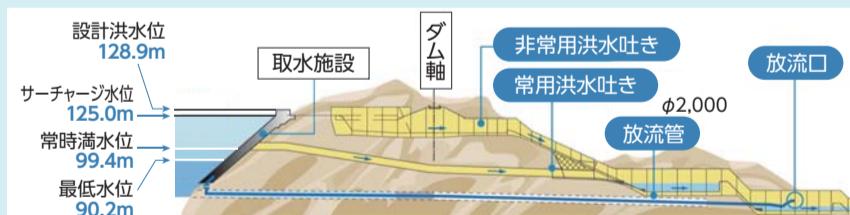
常用洪水吐き

常用洪水吐きは、ダムの治水計画の範囲内の降雨・出水があった場合に貯水池の水を安全に下流へ流す施設です。

非常用洪水吐き

非常用洪水吐きは、貯水池の水位がダムの高さを越えないように、ダムの治水計画を超える降雨・出水（超過洪水）があった場合でも、貯水池の水を下流に流すことができる施設です。

● 洪水吐き・放流管縦断図



● 洪水吐き・放流管俯瞰図

